



www.sokunousokudoku.net

一般社団法人 日本速脳速読協会 認定教室

読み解く力

できる子は伸ばしてる!

読解力

語彙力

思考力

英語力

考え抜く力

速読解・思考力 講座

速読聴英語 講座

できる子は伸ばしてる!

「読み解く力」「考え抜く力」

日本の教育はいま、入試改革や学習指導要領の改訂を通して、「文章や資料を速く正確に読み解く力」「物事を論理的に考え、自分の考えをまとめ、相手に正確に伝える力」を求める方向へ変化しています。このような変化に対応していくために、子どもたちの基礎能力の向上がさらに大切になってきます。

日本速脳速読協会が20年以上にわたり培ったノウハウをもとに設計された速読トレーニングをベースとして、子どもたちに身につけさせたい能力として近年注目されている「読解力」「語彙力」「思考力」をひとつのアプリ内で総合的にトレーニングできる、新しい自立学習型オンライン授業が「速読解・思考力講座」です。



これから求められる 「語彙力」「読解力」「思考力」

文部科学省が「生きる力」の育成を推進する現行の学習指導要領では、小学校で国語の授業時数が最も多くなっています。子どもたちの学力差が生じる背景として、特に語彙の量と質の違いがあるとされており、語彙力を伸ばすための指導が勧められ、より多くの活字に触れることが重要視されています。

また3・4年生で年35単位の外国語活動が導入され、5・6年生では外国語・年70単位が教科化されています。しかし、他教科の授業時間削減は行わずに

追加導入となったため、子どもたちは限られた時間でより多くの情報を処理し、学びにつなげていかなければならないのです。

中学校の授業や教科書も、新しい学習指導要領をふまえ、「知識・技能」の定着と「思考力・判断力・表現力」の育成をより重点化したつくりに変化しています。さらに入試問題における文章量、読解量の増加は、高校入試や、センター試験に代わり導入された大学入学共通テストにおいても多科目にわたり顕著な傾向です。

小学校、中学校、高校を通して、「多様な文章や図版をもとに考えをまとめたり、その過程や結果について、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて論述したりする力」の育成がますます必要とされているのです。

情報化、グローバル化と目まぐるしく進展するこれからの社会で活躍するために、子どもたちには実社会で役立つ読み解く力、考え抜く力ー語彙力・読解力・思考力ーがこれまで以上に求められています。

楽しく続けられる 仕組みがいっぱい



自分のアバターが
つくれる

トレーニングで
図書館がどんどん
広がる?!

トレーニングを
ナビゲート

読書速度に
あわせて
自動展開

トレーニングの
成果を確認
友だちと
競い合おう!

低学年向け

アバターの着せかえも楽しい!

トレーニングの成果を確認

全国の友だちと対戦!

一般社団法人 日本ゲーミフィケーション協会 代表理事 岸本好弘氏 監修



一生モノのチカラを身につける

「速読」は速く読むだけではなく、
読解に必要な「全体把握力」「思考力」「理解力」「記憶力」「検索力」を
バランスよく鍛え、処理速度をアップさせます。
身につけた「速読力」は普段の学習やテスト、受験、
さらに社会人になってからも役立つ、一生モノのチカラとなります。

目的別INDEX

目的	ページ	関連科目
読解力	本をたくさん読めるようになりたい	p10
	勉強の効率をあげたい	p11
	すらすらと文章を読めるようになりたい	低学年 p13
	読解スキルを基礎から身につけたい	p15・16
語彙力	文章を正しく理解して読みたい	高学年 p17
	たくさんの言葉を知りたい	低学年 p14
思考力	テストで役立つ力がほしい	高学年 p18
	算数の文章問題を得意にしたい	p21・22
	図形問題の苦手を克服したい	
	計算が速くできるようになりたい	p23
他	考える力を総合的に鍛えたい	p24
	スポーツで役立つ力を鍛えたい	p12
英語	英語を得意科目にしたい	p25

速読解・思考力

速読トレーニング
(能力開発)
p7~12

小学生国語
p13~18

小学生算数
p19~24

小学生英語
p25

速読聴英語

文章に多く触れる

小学生で大切なことは読んで理解する力。
速読トレーニングで読む楽しさを知り、表現力・理解力を身につけよう！

読書がたのしい！

たし算もひき算も速くなる！

英単語もたくさん覚えたよ！

予習復習もできたよ！

小学生

時間を効率良く使う

中学生になると教科が増えるので、予習復習など時間の使い方が大切。速読で鍛えた見るチカラはスポーツでも役立つ！

特技は速読です！

中学生

テスト・受験

高校生になるとテストがたくさん！速読で鍛えた記憶力・思考力がテスト勉強や受験に役立ちます。

入試でも記述問題がたくさん？！

長文読解リスニングも得意に！

高校生

研究・論文

大学ではたくさんの資料を読んでの研究や、論文を書くときに速読力が役立ちます！

英語を使う力がこれからの大学では求められる！

大学生

就活で速読能力をアピール

未来を生きる

将来は今ある47%^{※1}の仕事が自動化され、子どもたちの65%^{※2}が今はない職業に就くといった研究発表もあります。どんな将来にも役立つチカラを身につけておきたい！

社会人

文部科学省提出資料より ※1. マイケル・A・オズボーン『雇用の未来』
※2. キャシー・デビッドソンの予測

国語

学習や受験に役立つ！ 速く正確に読み解く力を鍛える

一人ひとりの読書速度に合わせた速読トレーニングを通して、文章や資料などのたくさんの情報を処理する「読む力」を鍛えます。

また、多くの文章に触れることで、国語力を支える語彙や要約の力を養いながら、言葉の意味や働き、文章の仕組みを正しくつかみ、内容を理解する基礎的な「読解力」も培っていきます。

「読解力」は、あらゆる教科に通じる総合的な学力であり、社会に出ても常に必要な大切な力です。

国語 講座内容

速読トレーニング

語彙力
トレーニング

基礎的読解力
トレーニング

文章読解トレーニング

入試対策コンテンツ

日本速脳速読協会の速読

わかりやすい・続けやすい・楽しいトレーニング

速読トレーニングは「わかりやすい・続けやすい・楽しい」トレーニングを目指し、確実に速読力を定着させる、学習にも役立つトレーニングです。

「文章全体を読まずに、ざっと目を通してキーワードを拾い読みする」という『斜め読み』や『飛ばし読み』といった概略的な読み方ではないので、普段通りの理解度を維持して速度が向上していきます。

トレーニングのコンセプト

- 速く正確に読み解く力を鍛える (実践的な能力開発)
- 様々な文章に触れることによる『読書観』の育成
- 受講生がお互いに能力を競い合い高め合えるシステム

識者推薦文

速読によって様々な脳機能が向上



澤口 俊之先生

脳科学者、脳科学評論家。
元・北海道大学大学院医学研究科・医学部教授。
専門は認知神経科学、霊長類学。

速読によって色々な脳機能を向上させることができます。まず、視野が広くなり、目の動きがスムーズになります。これに伴って「注意の視野」が広がります。注意の視野が広がれば、スポーツやクルマの運転が上手くなりますし、危険回避能力も高まります。

もっと注目すべきなのは、ワーキングメモリの速度が上がる、という点です。ワーキングメモリは思考や推論、計画、決断などの多様な高次脳機能の最重要な基礎です。このワーキングメモリが速くなることで、思考や決断も速くなり得ます。速読中の脳の活動をみても、注意やワーキングメモリに深く関わる前頭前野が左右共にとても活性化します。

前頭前野はこれらの機能以外にも、勉強や仕事などに重要な諸機能に関わります。速読がそうした前頭前野機能を広範に高めることは明らかです。さらに、前頭前野の働きは20歳を過ぎると加齢と共に下がりますが速読が脳の老化を防止する可能性もあり、この点からも速読は大きな意味をもつと言えます。

速読とは (理論、効果)

速読は読み方が違う

大半の方は通常『頭の中で一文字ずつ音声化する(=黙読)』という読み方で文章を読んでいます。これに対して、速読は『文章をかたまりで瞬間的に視野に入れ同時に内容を理解する(=視読)』という読み方です。

一人ひとりの読書速度に合わせたトレーニングを繰り返すことで、段階的に速読の読み方を身につけていくことが可能です。

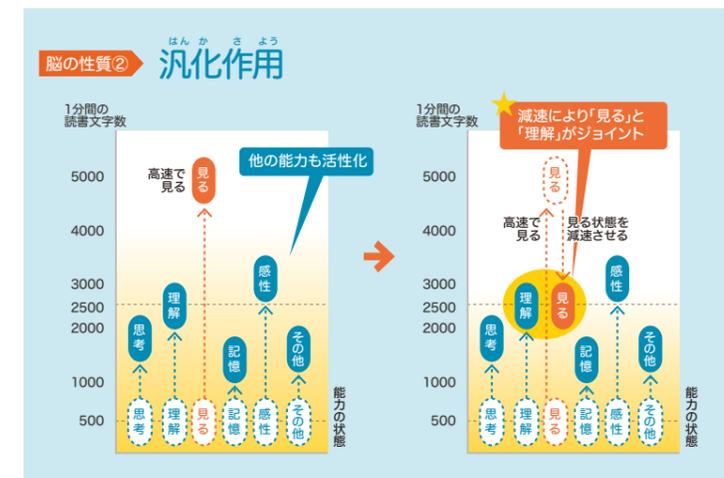
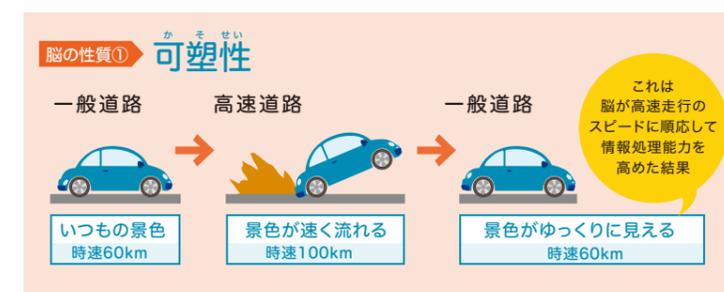


脳の働きを活用した速読法

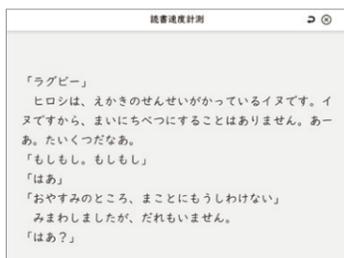
脳には、外的刺激に順応する(慣れる)性質があります。

速読トレーニングでは、**速いスピードで流れる文字を「見る」**ことを繰り返し、速く読むための擬似環境に継続的に身を置くことで、その能力の定着を図ります。また、トレーニングで**「見る」能力がアップすると、「理解」「記憶」などといった他の能力もそれに追いつこうと活性化**します。

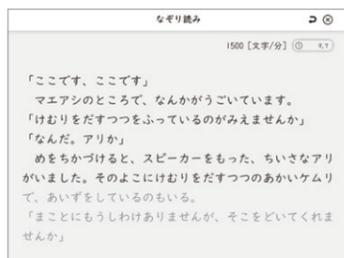
速読トレーニングは、「見る」能力を高めつつ、脳の特性を利用し、視読という新しい速読の読み方を定着させていくものです。速度の定着には、**脳の特性である「可塑性」「汎化作用」という特性を活用**しています。



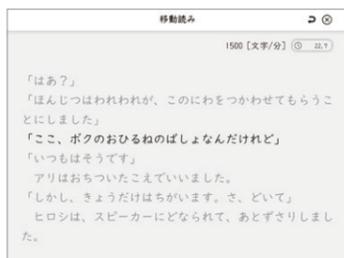
読書速度計測・読むトレーニング



トレーニング開始前に読書速度を計測し、展開するトレーニング速度が決定

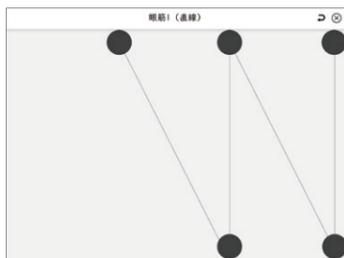


一文字ずつ読む従来の読み方で視点移動を加速し、読書速度を上げる速読の基礎トレーニング



固定読み・移動読みなどひとりひとりにあったスピードと読み方が自動的に展開

眼筋トレーニング

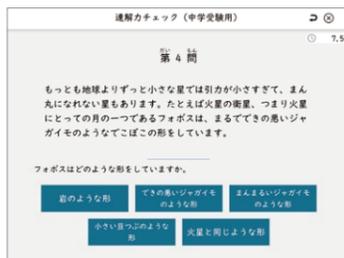


画面の上下左右に動くマークを追うことで、「見る」力を養うトレーニング



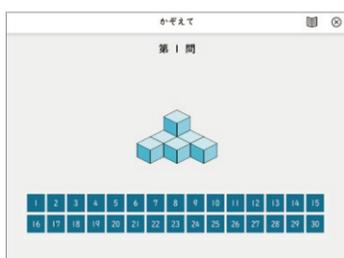
放射状に広がる図形を見ることで、文字を捉える範囲を広げるトレーニング

速解力チェック



短文中で読書速度に理解・記憶が伴っているかを確認し、理解と速度のバランスを鍛える

脳力トレーニング



かぞえて
イメージ力・思考力(空間認識力)をつかって、表示されたブロックを数える



ひろがり
画面の四隅に表示される記号を視野を広げて瞬間的に記憶する



なかまはずれ
なるべく目を動かさずに全体を広く見て、ひとつだけ違っているものをすばやくさがす

その他 40 種類の脳トレを収録

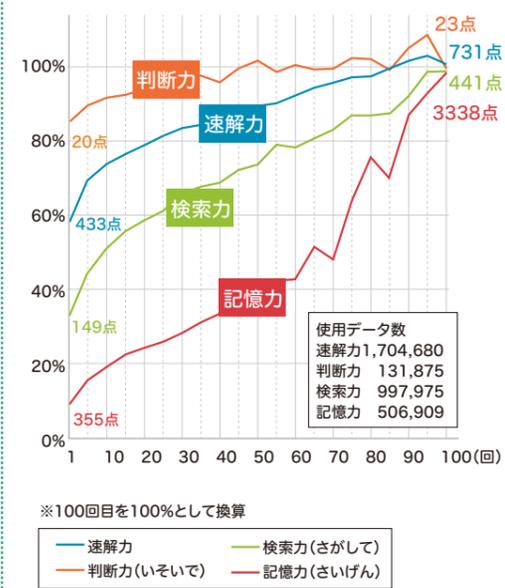
トレーニングの記録

10万人の受講データを分析!

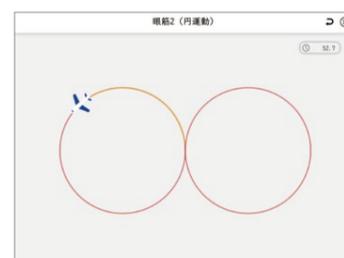
小学5・6年生の3ヶ月ごとの読書速度と短文理解度



10万人以上のトレーニング100回分の記録



スポーツビジョントレーニング



『DS 眼筋トレーニング』など多数の監修やプロスポーツチームへのアドバイスをされているスポーツビジョン研究の第一人者 石垣教授が監修したメニューで「見るチカラ」を鍛える

- 動体視力
- 眼球運動
- 瞬間視
- 周辺視野

「スポーツビジョン研究の第一人者」

石垣尚男教授監修 見る力を鍛える!



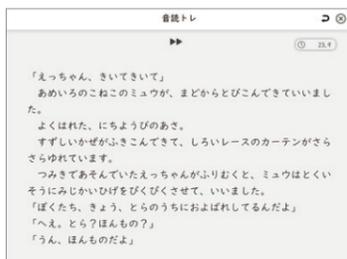
スポーツで良い視力は必要ですが、もっと重要なものが「スポーツビジョン」です。速読トレーニングでは動体視力、瞬間視、周辺視野など見るチカラを鍛えることができます。

低学年の学習で大切なこと 01

すべての学習の土台となる“読むチカラ”を鍛える

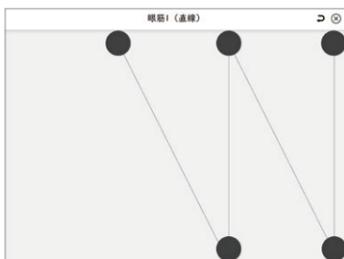
“読むチカラ”は国語だけでなく、**すべての教科で、問題文を正しく理解し、解答するために必要**です。早い時期から読むチカラを育て、学習の土台をしっかりと作ることが大切です。低学年から取り組めるトレーニングを通して、日本語文章を読み解いていくうえで必要な基本的なポキャブラリーと、ことばの仕組みを身につけていきます。

音読トレーニング



視読(速読)トレーニングの前段階として、文章を見ながら朗読音声聞き、読み方の確認や音読の練習を行い、読むための基礎をつくる

眼筋トレーニング



画面の上下左右に動くマークを追うことで文章を読むときの目の動きをスムーズにする

視幅拡大トレーニング



放射状に広がる図形を見ることで文章を読む時に先の単語を視野に入れながらスラスラ読めるようにする

脳力トレーニング

文章を速く正確に読み解くうえで必要になる能力を身につける



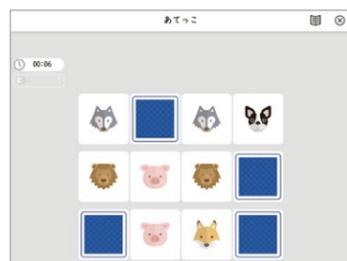
まちがいさがし
図形の認識や空間把握のチカラを育て、文章のつながりなどの内容理解やイメージ力を高める



ことばさがし
ことば(語彙)を増やし、すばやく判別する力を鍛え、読書に対応できる土台をつくる



いそいで(数字さがし)
集中力と目の動きや見方を鍛え、文字を読み進めるときの見方や目の動きを安定させる



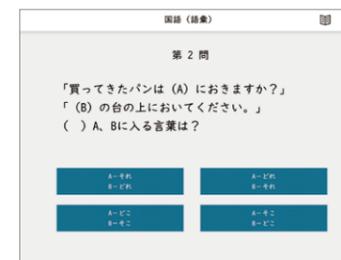
あてっこ
短期記憶力を鍛え、イメージを残しながら読み進めることで前後のつながりを理解しやすくする

その他 40 種類の脳トレを収録

低学年の学習で大切なこと 02

たくさんの文章に触れて語彙力を育成する

読書では読むことの楽しさや面白さを知ることができ、さらに語彙を増やすこともできます。**語彙力が高まることでより豊かな発想や思考ができるようになり、思考力や表現力が育ちます。**たくさんの文章に触れられる環境を作りましょう。



語彙カトレーニング 出題内容

出題内容/レベル目安	小学低学年			小学高学年		
	1	2	3	4	5	6
ひらがなとカタカナ						
擬音語・擬態語						
こそあど						
主語・述語						
用言(動詞・形容詞)						
体言(名詞・熟語)						
指示語						
接続語						
修飾・被修飾						
常体・敬体						
副詞						
ことわざ・故事成語・慣用句						
四字熟語						
敬語						

「読書への関心」「語彙」「読み解く力」を育てる

角川つばさ文庫の人気作で速読トレーニング!

人気児童文庫レーベル「角川つばさ文庫」の作品から、多くの子どもたちに親しまれベストセラーとなった人気作、名作の一部をトレーニング用文章として配信しています。トレーニングを通じて良書に触れることで、「実際の書籍を手にとって読んでみよう」という読書への興味を育みます。



求められる“言葉のチカラ”

中学校の教科書も「語彙力」「読解力」重視

読解力が学力の育成の根幹であることは明らかですが、その前提にあるのが**語彙力**です。従来よりも抽象度の高い語彙を含めて1,500語以上の語彙を指定する教科書もあり、**全体的に語彙力の充実が図られています。**

中学国語では、文章の内容をどのような観点から読み解くかを思考ツールを通して学んだり、文章を情報としてとらえ、図表やグラフとの関係性をふまえて整理したりして、**内容を論理的に理解することを目指します。**

小学生の時期から、ふだんのトレーニングを通して「語彙力」「読解力」を身につけておくことは非常に有効です。

「読む」と「読み解く」は大違い

文章をすらすら「読む」ことができたとしても、そこで述べられていることを正しく理解し、内容を把握できているとは限りません。

文章を「読み解く」とは、**言葉の意味や働き、文法などをふまえて、文章の構造を正しくつかみ、内容を理解すること**なのです。

近年、このような基礎的な読解力が低いために、**教科書レベルの文章を正しく読めていない生徒たちが多くいる**という調査結果も出ています。

読めば解るのに難しい?!

読解問題に挑戦!

以下の文を読みなさい。

Alex は男性にも女性にも使われる名前ですが、女性の名 Alexandra の愛称であるが、男性の名 Alexander の愛称でもある。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

Alexandra の愛称は()である。

- ① Alex
- ② Alexander
- ③ 男性
- ④ 女性

「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」 新井紀子著 東洋経済新報社

不正解率

全国中学生 (235名) **62.1%**

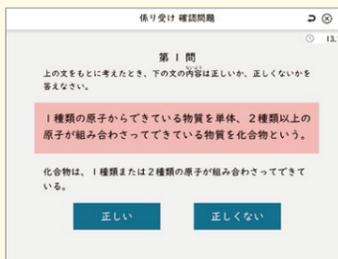
全国高校生 (432名) **35.4%**

スモールステップで身につける

基礎的読解力を体系的にトレーニング

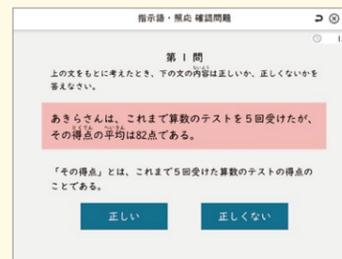
STEP 1 文章を読み解くうえで必要な技能を6つに分けて、短い問題文で反復演習することでそれぞれの技能の習得度を確認します

係り受け



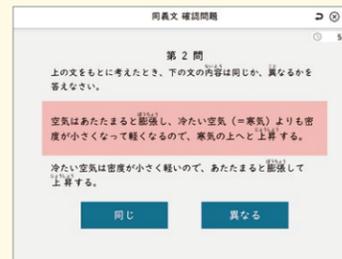
主語・述語、修飾・被修飾などの文節の関係を理解する

指示語・照応



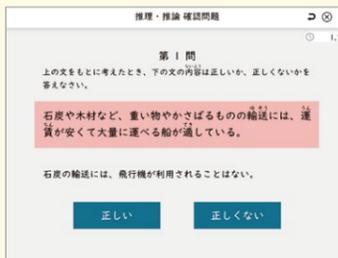
指示代名詞などが指し示す内容を正しく理解する

同義文



2つの文の意味が同じか異なるかを判定する

推理・推論



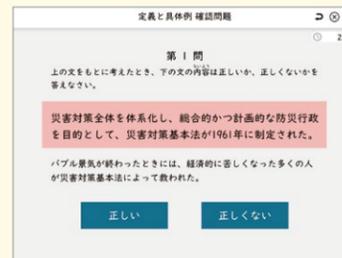
文の構造を理解したうえで、既存の知識と照らして文章の意味を理解する

図表の読解



文章、図形、グラフを比べて、内容が一致しているかどうかを認識する

定義と具体例



ものごとの定義を読んで、それと合致する具体例を認識する

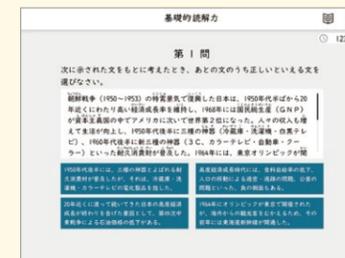
STEP 2

やや長めの文章の内容を読み取る問題を通して、文と文の関係も把握しながら読解します



STEP 3

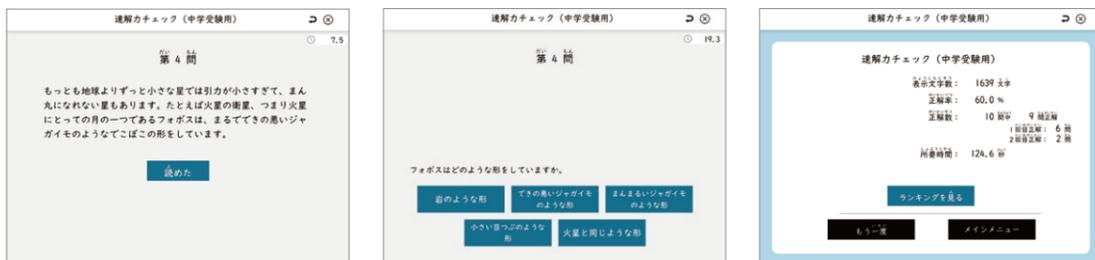
長めの文章だけでなく、図やグラフ、表なども並行して読み進め、複合的に内容を把握する力を養います



たくさんの文章に触れる

内容理解、要約の力を養う文章読解トレーニング

速解力チェック 読書速度に理解・記憶が伴っていることを確認するとともに、処理速度の向上を図る



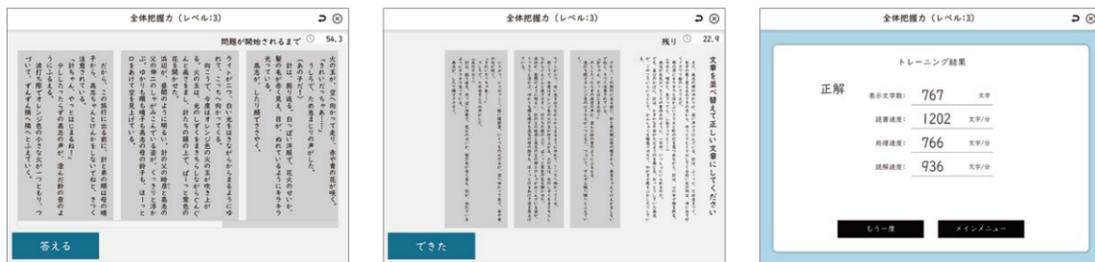
理解力トレーニング

文章の要約・要旨を理解する力を養成する



全体把握力トレーニング

文章の内容の全体を把握する力を養成する



読解チェック

実践的な問題形式で、文章読解力の強化を行う



入試に役立つ国語の問題

語彙力、時事問題トレーニング

語彙 受験や作文対策にも役立つ、合計 2,880 語を学べる



時事問題

時事ニュースに触れることで、理科・社会の入試対策にも役立つ



時事問題は 8 割以上の入試で出題

日本や世界の主なできごとについて考え、答えを導き出す時事問題。環境、経済などSDGsを意識したテーマの出題が増えてきており、国語、理科、社会、英語の入試対策として極めて重要です。

テスト時間の配分

受験当日に実力を発揮!

読書速度が速いほど処理能力も高くなり、試験時間を有効的に使うことができます。時間に余裕が持てると、精神的にも落ち着くことができ、ケアレスミスを防ぐことができます。

※試験時間の6割を解く時間として計算

中学受験 約10,000文字の場合(国語)

読書速度	試験時間	60分
500文字/分 ※平均速度	読む	40分
	解く	20分
	見直し	不足16分

1500文字/分 ※受験に必要	読む	13分
	解く	36分
	見直し	11分

高校受験 約8,500文字の場合(国語)

読書速度	試験時間	60分
500文字/分 ※平均速度	読む	34分
	解く	26分
	見直し	不足10分

1500文字/分 ※受験に必要	読む	11分
	解く	36分
	見直し	13分

※読む時間は読み直しや答えの検索などを考慮し、文字数を2倍で計算しています。

算数

考え抜く力

論理的思考につながる、 算数脳を育み考え抜く力を鍛える

トレーニングで伸ばしたいのは、物事をさまざまな角度から見て考えをまとめる力、自分の意見を論理的に説明できる力です。計算などのように反射的に解ける問題で情報処理スピードを高めたうえで、さらに、よく考えないと解けない算数的思考力問題に取り組むことで、考え抜く力を培っていきます。

また、算数・数学の学力と読解力の間には相関関係があることが判明しています。算数や数学が、具体的な情報と一般化された情報とを行き来しながら論理的に思考を繰り返し、答えを導き出す力を必要とするからです。

読解力、思考力を総合的にトレーニングすることで、算数の問題に臆さず前向きに取り組める土台をつくります。

算数 講座内容

算数的思考力トレーニング

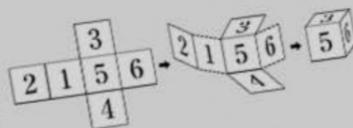
計算力・速算力

脳力トレーニング

ステージ2 3 さいころを作ろう①

第1問

次の図のように、数字を書いた紙を組み立てて、さいころを作りました。このさいころをころがしたとき、下の(あ)、(い)、(う)にあてはまる数字をそれぞれ答えなさい。



(あ) 1



(い) 4



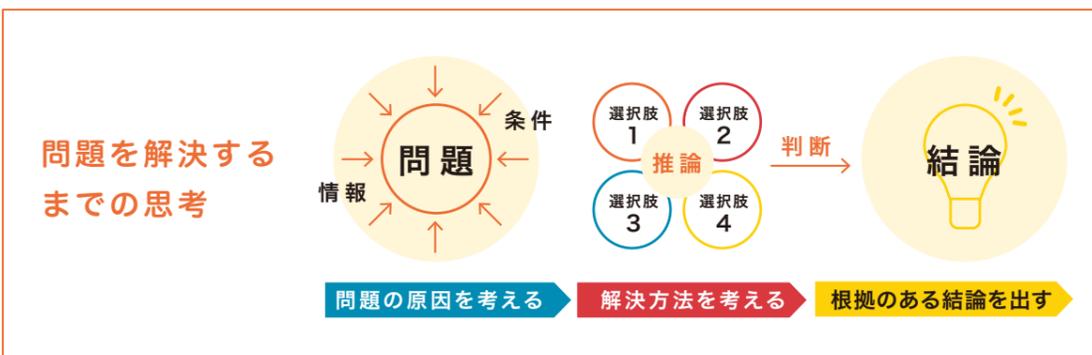
(う) 6

結果を見る

思考力とは

問題解決の筋道を考える力

思考力とは、**問題解決の過程を考え、最適な選択肢を判断する力、これからの社会で活躍する力**です。
 私たちが問題に直面した際、さまざまな情報・条件を考慮し、いくつかの筋道を考えて、その中から最適なものを選んでいく力が必要になります。



- 1つでも当てはまったら思考力不足?!
- 算数の文章問題が苦手
 - 応用問題が苦手
 - 作文が苦手
 - 誰かに説明するときに、うまく話せない (筋道が通っていない)
 - 質問に「ふつう」と答えることが多い
 - 質問に「わかりません」と答えることが多い

サイコロを組み立てよう 思考力問題に挑戦!

みぎ す ずうじ か かみ く た
 右の図のように、数字を書いた紙を組み立てて、さいころを作りました。このさいころをころがしたとき、下の(あ)(い)(う)に当てはまる数字をそれぞれ答えなさい。

あ い う

IML 国際算数・数学能力検定協会

算数的思考力

さまざまな角度から問題解決に取り組む

計算や公式にあてはめて解答するだけでなく、**さまざまな角度から問題解決への筋道を考え抜く力**を養います。
 実力に合った難易度で段階的に取り組むことで、いろいろなパターンの問題を解けるようになります。

情報・条件を使いこなす力

複数の情報を整理し、その中から必要なものを選び適用する / 情報を組み合わせて、処理・絞込・排除する



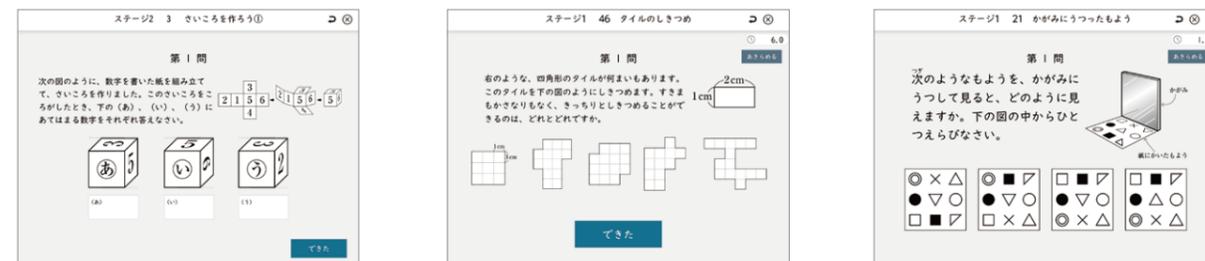
筋道を立てて考える力

試行錯誤しながら、粘り強く考える / 問題の構造を把握したり、結論から考えたりする



ものの形を認識、想像する力

平面や空間で、ものが移動・回転するようすを想像する



計算力・速算力

思考力を伸ばす土台は“計算力”

算数が苦手だと感じる子に共通するものは計算力不足と言われています。図形問題や文章題など、計算力とは関係ないように思われるかもしれませんが、図形や文章題が得意なのに計算力がない子はいません。算数や数学の学習では、試行錯誤を繰り返すことで思考力がついていきます。いくつかの解き方を試しながら正解に近づいていくわけです。

ところが計算が苦手な子はこの試行錯誤を繰り返すことに時間がかかってしまうので、考えることが面倒になり、ねばり強く考えることをあきらめてしまいます。当然そこで思考力の向上も途切れてしまいます。計算力があるからこそ、思考力も伸びていくのです。

“計算力”を高めて“速算力”へ

計算力は、スポーツにおける体力に相当します。単純な計算問題ばかり量をこなすのは、体力づくりのために走り込みを繰り返すのと同じで続けるのがたいへんです。

脳トレ形式で点数を競い合うことで、楽しみながら計算のスピー

ドと正確さを高めるためのトレーニングに取り組むことができます。



検証 トレーニングで情報処理速度と計画・実行能力が鍛えられる

情報処理速度と実行機能は、前頭前野が役割を担う認知機能です。今回の検証により、ある一定以上(35時間)のトレーニングを経験した生徒では、前頭前野の活動が高く、素早く情報を処理する能力と、物事を順序立てて計画・遂行する(実行機能)能力が優れていることがわかりました。つまりトレーニングを長期間行うことで、より速く問題を把握し、解き方を考え、思考を進めていくことが得意となっていることが示唆されます。



検証協力：株式会社 NeU
株式会社NeU CTO兼 東北大学加齢医学研究所所長
脳トレの第一人者 川島 隆太 先生

検証日:2018.10.10 「みんなの道徳」での検証結果です

NeU 監修 脳カトレーニング

知能の基礎となる認知能力の
パフォーマンスを高める脳カトレーニング

ワーキングメモリ

新たな情報(記憶)を一時的に保持し、課題を処理する能力

- ・数唱
- ・語音整列



推論

目から入った情報を適切に処理し正確にアウトプット

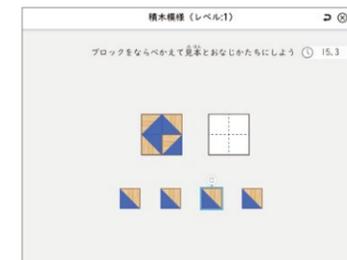
- ・絵画完成
- ・絵の概念
- ・行列推理



処理速度

比較的単純な複数の情報をすばやく正確に処理する力

- ・算数
- ・積木模様
- ・記号探し
- ・符号
- ・組み合わせ



言語理解

ものの名前や言葉の概念の理解など、言語的な知識量

- ・知識
- ・類似
- ・単語



英語

読む・聴く力

読む・聴く力の素地を養い、 英語に慣れる、得意にする

日本の英語教育全体や入試制度が大きく変化した今、英語が小学校から教科化され、中高を通して一貫した教育へと変わります。例えば、習得する単語数が大幅に増加し、中学で習う単語が小学校の英語の教科書で登場するなど学習の前倒しがあります。また教科書改訂に伴い、大きく難化し、取り扱うテーマも高度なレベルに変わるだけでなく、知識・技能を習得した前提で授業が進んでいくのも特徴的です。

これから求められる英語力を身に付けるためには、簡単なレベルから「読む」と「聴く」を通して単語や表現をインプットし、しっかりと英語の基礎を作っておくことが大切です。

英語 講座内容



Readingコース

Vocabulary (単語)
Reading (読解演習)
Speed Reading (速読トレーニング)

Listeningコース

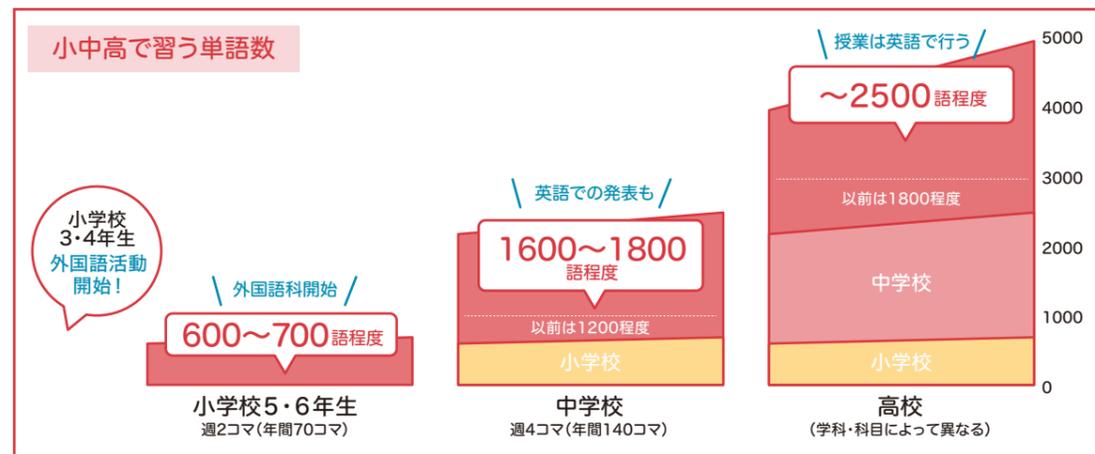
Vocabulary (単語)
Listening (リスニング演習)
Speed Listening (速読聴トレーニング)

「速読聴英語講座」は「速読解・思考力講座」とは別にお申し込みが必要です。詳しくは教室へお問い合わせください。

これからの英語教育

小学校で教科化、中学・高校では英語での授業も

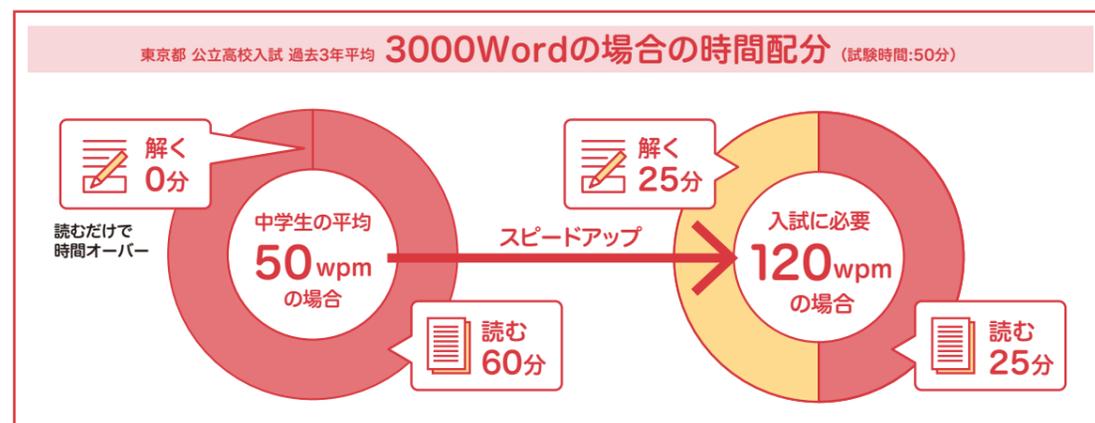
英語が小学校から教科化され、5・6年生では600～700の単語を学習します。さらに、中学校以降は基本的に英語で授業が進められるため、**小学校の学習内容は小学校卒業までに理解しておくことが大切**です。



知っておきたいこれからの入試

今の高校入試は長文化傾向

高校入試はまだ先の話と思うかもしれませんが、今の高校入試は、これまでの文法重視の問題から、**長文読解、図表を組み合わせるような複合的な問題**など、より**英語力を問う出題傾向**へと年々変化しています。



苦手意識をつくらない

英語に慣れ、得意につなげる3つのポイント

ポイント1 たくさんの語彙を読む・聴く

言葉を話したり、書いたりするためには、たくさんの語彙を「読む」「聴く」という**インプット**をすることが必要です。

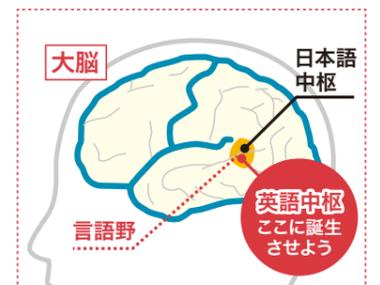
読んで、聴いた量が多ければ多いほど、「話す」「書く」等のアウトプットの時、様々な伝え方ができます。



ポイント2 英語の言語中枢をつくる

私たちの大脳の中には、**言語を司る言語中枢**という箇所があります。これはそれぞれの言語によって個別に作られ、日本語を母語とする日本人の多くは、日本語の言語中枢を持っています。**「英語が苦手」という風を感じる人は、英語の言語中枢が出来上がっていないため**、英語の内容を理解しようとすると、まずは日本語で理解してから英語に変換するため、時間がかかってしまいます。その結果「英語が苦手」と感じやすくなってしまいます。

「英語を英語で考える」には、**英語の言語中枢を形成する**必要があります。



ポイント3 自分のレベルに合わせて始める

英語の言語中枢を作るためには、**たくさんの語彙を読む・聴くことで英語に耳を慣らしていく**ことが大切です。そして、正しくインプットするためには、自分のレベルに合っていることが重要です。つまり**8割程度理解できる英文から始め、徐々に難易度をあげていく**ことが効果的です。

速読聴英語講座は、英検®5級レベル～準1級レベルまで幅広く文章の難易度を用意していますので、**小学校の学習～大学受験まで長く続けていくことが可能**です。

コース	英検®目安	内容
Course I	5～4級	英語初心者向けの短くて易しい文章を豊富に搭載 小学校5・6年生で学習する英単語を網羅! 東大や難関大へ多くの生徒を輩出した英語指導のプロが監修した英単語帳を搭載
Course II	3級	説明文、エッセイ、手紙文など 高校入試で出題される形式
Course III	準2～2級	論文、会話文、WEB文章などの長文問題
Course IV	2～準1級	現代技術や社会問題など、 大学入試に出やすいトピック

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

自分にあったレベル・ペースでトレーニング 語彙、読む・聴く力をバランスよく鍛える

自分のレベルに合わせてスタートできるので、授業進度や学年に関係なく、いつでもトレーニングを進めることができます。

Reading コース

Vocabulary

各単元ごとに15~30語の単語を学習
学習後、和訳問題が出題

Reading

文章を読んだ後、内容理解の問題が出題
短くやさしい文からはじめ、読むことに慣れる

Speed Reading

前から英文を読むトレーニング
Reading演習でのスピードに、トレーニング速度が対応

推奨トレーニング

英文を聴きながら単語などを書き取るディクテーション、英文を聴きながら声に出して読むシャドーイングも、英語力を上げるためのトレーニングとしておすすめです。

ディクテーション
音声を聴いて、単語を選択する穴埋め問題

シャドーイング
1.5倍、2倍速の音声に合わせてのシャドーイングができます

成果・実力確認

普段のトレーニングの成績はグラフや数値で確認できます。また、「読む」「聴く」力がバランスよく鍛えられているかを測ることを目的に、年8回のマンスリーチェックを実施。自身の実力を確認して、次の目標設定に活用できます。

マンスリーチェック

成績画面

Listening コース

Vocabulary

Listening

問題文と質問をリスニングで聴き取る
トレーニング

Speed Listening

全文、1倍・1.5倍・2倍速の音声を収録

続けることで身につく！モチベーションアップの仕組み

世界旅行をベースとしたゲーミフィケーションとなっており、訪れた国の情報を知ることができるので異文化学習にもつながります。また、トレーニングでためた仮想通貨(ペニー)で訪れた国のアイテムを買うことができます。

トレーニングで
チケットをためて
好きな国に行こう

成果を確認できる 検定

能力の定着度の把握や受講の目標設定のためにも、日頃のトレーニングの成果を確認する機会はとても大切です。各講座では毎月の成果確認イベントに加え、年に数回の検定試験を実施しています。

速読解力検定

速読解力検定は、「速解力」と「基礎的読解力」それぞれの実力を測り、より明確な自分の基礎能力「速読解力」を客観的に確認することができるWeb検定です。

「速読・速解力」は、実は学習スピード・基礎学力にも深く関係しています。他の人と比べてどれくらい速く正確に読み解けるのか？それを知っておくことは、これからの学習やトレーニングに大いに役立ちます。

実施日程 第1回 6月1日～6月30日、第2回 10月1日～10月31日

受検期間及び受検方法については、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

速解力

検定内容

[内容]検定1 速解力(横書き) 計14問
検定2 速解力(縦書き) 計14問
※必ず両方受検すること

[時間]各15分

[字数]各2,000～4,000文字程度

[出題]並び替え、択一、穴埋め、要旨



受検カテゴリ

ジュニア	小学2年以下	アドバンス	中学1～3年
ベーシックI	小学3～4年	スタンダード	高校生以上
ベーシックII	小学5～6年		

個人成績表・認定証書



読書速度と読解速度(速く正確に読み解く速度)が算出されます。認定基準を満たすと認定証書を発行します。認定された級や段は履歴書や履歴書にも書くことができます。

基礎的読解力

検定内容

[内容]検定3 基礎的読解力(短文) 全18問
検定4 基礎的読解力(中・長文) 全10問
※片方だけの受検も可能

[時間]各15分

[字数]約100～1,000文字程度 ※図表内の文字除く

[出題]文章4択



推奨学年

小学校高学年以上(全学年同一問題)

速読解・思考力講座のトレーニング「基礎的読解力」練習問題Bが円滑に実施できることが望ましい。

個人成績表



短文、中・長文どちらも5段階(A～E)でランク判定。両方受検で総合ランクが6段階(S～E)で判定されます。(片方のみの場合は総合判定は出ません)

算数・数学 思考力検定

※iML国際算数・数学能力検定協会が実施する検定です。受検には別途お申し込みが必要です。

算数・数学の問題を解くことを通じて、子どもの身につけている「思考力」の程度を知るための検定です。受検のための学習を継続的に行うことで、より高い思考力が身につく、また、目標ができることで学習のはげみにもなります。(算数・数学思考力検定ホームページより 抜粋)

検定内容

[検定級] 10級～準2級

[検定料] 2,100円～4,000円 ※受検級によって異なります

[時間] 45分～90分 ※受検級によって異なります

出題内容、日程、申し込み方法等、詳しくは算数・数学思考力検定ホームページをご覧ください。
<https://www.shikouryoku.jp/>

速読聴英語検定

速読聴英語検定とは、様々な種類の英文を「いかに速く正確に読めるか、聴けるか」を測定するWeb検定です。正解数と速さをかけ合わせた総合判定や全国順位を知ることができ、自分の解き方の傾向も詳しく確認できるので、その後の英語学習やトレーニングに役立てることが可能です。

入試や民間試験では、リーディングやリスニングの長文化に対する処理能力のみならず、思考力や判断力も必要とされており、しっかりと考えて答えるためには、今まで以上に時間配分が重要です。

実施日程 第1回 5月15日～6月15日、第2回 10月15日～11月15日

検定内容

[内容]リーディング：15問

リスニング：20問

※片方だけの受検も可能

[時間]各15分

[英文]リーディング：50～180語

[語数]リスニング：15～90語

[出題]各英文に対する5択の内容確認問題



レベル

Level 1～4 小学校高学年～大学受験生

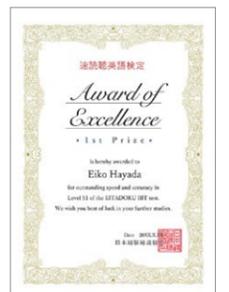
個人成績表

正解数(ACCURACY)と速さ(SPEED)で評価します。正解数と、正解した設問の平均読書速度、全国平均、全国順位を掲載します。内容や問ごとの成績も掲載されるので、弱点を把握することができます。



賞状

全国の受検生の中でも優秀な成績を収めた方に、賞状をお贈りします。



※画像はイメージです

全国の受講生に聞きました 受講生の声

読むスピードに変化はありましたか



記憶力に変化はありましたか



集中力に変化はありましたか



受講1年後 回答数23,640人(2019年11月時点)



速読の授業が
毎回楽しみ

小学3年生 O.Aさん

今まで難しいと思っていた話の長い本を楽しくかんとんに読めるようになったのが役に立ったことです。これからも、速読を活かして色々な本を読んでいきたいです。そして、速読の授業を毎回楽しみにしています。これから速読を続けていきたいと思っています。



国語の成績が
22点アップ!

小学5年生 F.Aさん

トレーニングを始めてから国語の成績がグングン上がって、学校でも成績が良くなって嬉しいです! 読書速度は739文字/分から2905文字/分にアップしました。苦手なトレーニングもあるけど、向き合うと、だんだんと得意になっているなど実感できます。



解く時間の確保が
合格につながった

小学6年生 F.Aさん

速読を受講し始めてから、文章を読む速度が自分でもわかるほど速くなりました。それにより、テスト中だけでなく自習のときも効率よく勉強を進められるようになりました。入試本番でも問題文を速く読むことができ、問題をじっくり考えられたことが合格につながったと思います。



中学受験で
志望校に合格できた

中学1年生 S.Rさん

速読をはじめる前、国語の偏差値が40台になる時もありました。速読をはじめると、少しずつ偏差値があがりはじめ、中学受験1ヶ月前にはクラスで1番の成績を取ることもできました。そのおかげで受験も無事合格することができました。



読むスピードの
メリットを活かして
時間を有効活用

兵頭さん親子
受講生:小学6年生
灘中学校合格



速読を始めた目的やきっかけを教えてください

志望校合格に向けて、どうすれば限られた時間を有効に使えるかと考え、5、6年生で受験勉強が忙しくなる前に速読を身につけておくことで将来的に時間を有効に使えると思ったので、早く習わせたいという思いがいちばんでした。

入試で速読力はどのように活かされましたか

入試本番では1日目、2日目通して余裕をもって取り組めたようです。速読のイメージとして、ただ読むだけと思われているかもしれませんが、入試において、長い文章を読んで、理解して、的確な解答を書けたことがとてもうれしかったです。実は他の子たちに比べて字を書くのがすごく遅いことが課題でした。記述量がとても多い灘中学の入試問題を時間内に解き終えたというのは、やはり読む速さのおかげだと思います。

しっかりと書く時間を確保できれば解答する力は持っていたと思うので、インプットのスピードのメリットを最大限活かしたことがいちばんの成果かもしれません。



小3から12年間受講
スピードと集中力、
読書習慣が役立った

M.Sさん
大学1年生
東京大学理科一類合格



読書習慣について教えてください

小学生の頃から読書量が多く、物心が付く前から母が読み聞かせをしたり、さまざまなジャンルの本に触れる機会をつくってくれました。受験生の時期にも趣味として読書は欠かしませんでした。

灘中の国語問題は特別文章量が多いというわけではなかったと記憶しています。でも、小さい頃からの読書の積み重ねで、内容を理解することは得意だったかもしれません。

学習や受験を通して、どんな場面で速読は役立ちましたか

平日の受験勉強は塾でする時間が主で、家ではあまり長くはしませんでした。記憶力はあまり良いとは思いませんが、勉強の時間が比較的少なくてなんとかなのは、速読で身についた「集中力」が役立ったのだと思います。

大学受験前は「速読英語」(※現・速読聴英語)を主に受講していました。テストのときに英文を読むのは速くなったと感じました。

※成果の表れ方には個人差があります。※学年と受講歴は取材当時